

**男女共同参画キーワード**

**家族で向き合う男女共同参画**

男女共同参画という言葉を聞くと、とても難しいイメージを持つ方も多いと思います。

政府が打ち出す政策や法律ももちろん大切ですが、一番大切なことはまず家族で男女共同参画と向き合うことです。

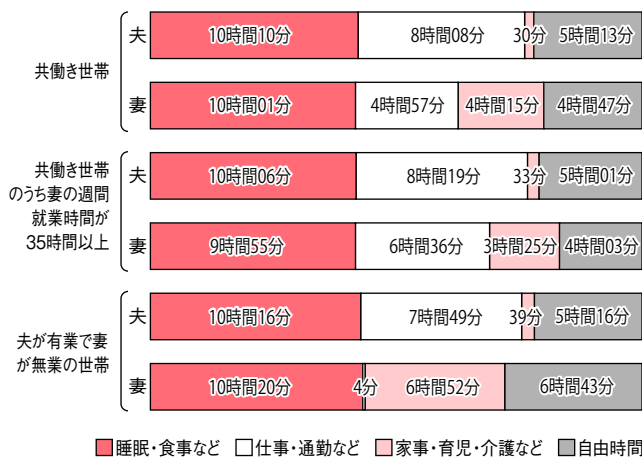
**家庭での「役割」を見直しませんか？**

家庭での役割が女性は家事、男性は仕事と固定的役割分担にとらわれ過ぎてはいませんか。働くお母さんが増えている今、家庭での役割分担をもう一度家族で話し合うことが必要です。

**埼玉県や国の調査によると**

平成23年の埼玉県の調査では、家庭生活（料理、掃除などの家事）での役割分担は主として女性が担っていると回答した人が、全体の75%を超えています。また、家計の管理は60%、自治会・PTAへの参加についても40%以上の人が、主として女性が担っていると回答しています。しかし同時に多くの人が、家庭生活での役割分担は協働すべきとしています。本来は協働すべき家事などが、実際は従来の固定的役割分担のままになってしまっていることを示しています。

また、平成24年発表の内閣府男女共同参画局の調査によると、男性の家事や育児にかかわる時間は、妻の就業状況に関わらず30分程度と短くなっています。このことから、男女共同参画の必要性は感じながらも、実際はなかなか取り組めていないことがうかがえます。



**核家族化、地域からの孤立化が進む現代では**

ちょっとしたことをサポートしてくれる親もそばにいないことが多く、地域との関係性が希薄なため、近くに気軽に家庭の悩みを打ち明けられる相談相手もないケースが増加しています。そのため、家庭で家事や育児を担う女性の負担が増え、不安やストレスも増えています。さらに、働く女性が増加している中で、職場でのストレスと家庭でのストレスが同時に女性にのしかかっている可能性があります。

**まずはできることから一歩ずつ**

例えば、ゴミを捨てる、お風呂を掃除する、食べた後の食器を洗う、子どもを保育園に連れて行くなど、家事に不慣れな人でもできることはたくさんあります。協力できること、気づいたことからどんどん実践していくことが大切です。そのためにも、お互いの1日のスケジュールをよく確認し、お互いが無理なく、気持ちよく生活するために工夫をすることが欠かせません。



**育メンって知ってますか？**

育メンとは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のことです。男性が育児にかかわるようになると、妻である女性の負担が減り、男性も育児や家事の楽しさを知るなど、男女双方にメリットがあります。また、従来の固定的役割を見直すことで、家庭生活も家族のあり方も変わっていきます。(育メン特集サイト <http://ikumen-project.jp>)

**役割分担は家族それぞれ**



家族の就業状況や家族構成など、環境にも家族ごとの違いがあります。家庭生活における役割分担も、性別にかかわらず、できることから協力していくことが大切です。

**富士見市 女性相談（要予約）**

第1・3火曜 午後1時～4時（1人50分）

市役所2階第3相談室

申込み・問合せ／人権・市民相談課 ☎272

**With You さいたま** ☎048-600-3800

月～土曜（第3木曜を除く）午前10時～午後8時30分  
さいたま市中央区新都心2-2

※男性からの相談も受け付けています。